



東洋遺稿

曾
651





故小野梓先生肖像

故小野梓先生遺墨

病毛は帰し後熟思ふよ畢竟斯く藩聽の東傳を受くるに必竟帯
 刀の身不て士かの列不存れに然るなり（帯刀を以て奉入たるは）士林と稱し平人と為し
 身と自由ならずとて今日の上策なりと或る日其由と萱芸家兄等不話し
 平人の頭と出すことと為たりき然るに伊垣公之を聞き届けるまき考め據存
 く他家へ養子不往躰不て平人と為りたりきこの平人不考る事ヲ執きて人
 と大抵その短氣なるを戒め今時ハ平人でせよ士林不為りたり思ひ脚ざし
 の一本も差し養思ふ世の中なる不態 帯刀と抜き捨て平人と考るとハ
 滅志得道しなむ由とさきやきたれども余に於て見る所ありしにわし我の
 心不まき世に笑わしと堅く乞ひ遊ぶ平人と云ふべき

故小野梓先生ノ遺稿中自家ノ經歷ヲ手記セル一冊子アリ
 右ニ掲ゲシハ其一節ニシテ手跡ノ儘ヲ寫眞石版ニ附セシ
 モノナリ

明治十五年十一月廿七日 橫濱港座 於 演說

輸入減少之原因

小野樺君演說筆記

滿場ノ諸君、余カ橫濱ノ公衆ニ對シ其政治上
 ノ意想ヲ吐露スルハ實ニ此回ヲ以テ始メトス
 斯ク云ハハ余ハ橫濱ノ土地ト疎遠ナルカ如シ
 然レトモ此レ決シテ然ラス全ハ寧口橫濱ノ土
 地ト親密ノ關係アリト云フ又リモ決シテ疎遠
 ナルモノト云フ一ヤラス余ノ年ハ英學ニ志サ
 セシヤ實ニ此地ニ於テ其單語ヲ習ヒ初メリ
 キ爾後海外ノ遊學ヲ為スノ日マテハ始終此地
 ニ在寓シ此地ノ水ヲ飲ミ此地ノ食ヲ嘗ク野毛

山ハ余カ舊時散步ノ所ナリ根岸ノ村ハ余カ
 舊時^日達馬ノ里ナリ(拍手喝采突聲四起)余カ榎濱
 縁故アルス如ク其關係ノ親密ナル實ニ膠
 漆^二モ密ナラサルナリ是ヲ以テ榎濱ノ盛衰ハ每
 ニ余ノ感情ヲ惹キ起シ易ク余ハ榎濱商業ノ盛
 ナルヲ見ハ自ラ之ヲ賀シ其衰アルヲ聞ケハ竊
 ニ之ヲ憂ヒ恒ニ此港ノ繁昌榮華ナラシムコトヲ
 希^一リ(拍手喝采)余カ此港商業ノ盛衰ヲ見聞シ
 テ或ハ喜ヒ或ハ憂ヒ殆ント自ラ指クエト能ハ
 サル實ニ此ノ如シ然レトモ此レ唯リ余カ此港

ト舊識アルカ故ニニアラス實ニ此港商業ノ
 盛衰ハ我日本帝國外國貿易ノ盛衰ヲ為シ其関
 係スル所決ニテサナシナルヲ以テ(謹聴)ニ
 余ハ帝國人民ノ本分トシテ其盛ナルヲ見テ之
 ヲ喜ヒ其衰アルヲ聞テ之ヲ憂ヒサルヲ得ル(拍
 手大喝采)故ニ余ハ榎濱ヲ惹キ起シ易ク私情ヨリ
 ニテ此港商業ノ盛ナルヲ祝スト云ハシトス(謹
 聴)ニ大喝采余ハ實ニ我カ大日本帝國ノ為メ
 ニ此港商業ノ繁昌ナラシムコトヲ希^一リ(拍手四
 起)是ヲ以テ此港商業ノ不景氣ハ余ノ決シテ憂

余ハ榎濱ヲ惹キ起シ易ク私情ヨリ
 ニテ此港商業ノ盛ナルヲ祝スト云ハシトス(謹
 聴)ニ大喝采余ハ實ニ我カ大日本帝國ノ為メ
 ニ此港商業ノ繁昌ナラシムコトヲ希^一リ(拍手四
 起)是ヲ以テ此港商業ノ不景氣ハ余ノ決シテ憂

テ所ニアラサルナリ(拍手)否十外回貿易、盛衰
ハ余カ大日本帝国ノ為メニ甚々憂苦ニ堪一廿
ル所ナリ(大喝米)瑞場ノ諸君、横濱今日ノ景氣
ヲ看テ如何ナル感情ヲ發セハ乎諸君ハ之ヲ見
テ益々盛ナル有様ナリト謂ハル乎將々衰微シ
タル有様ナリト謂ハル乎諸君ノ意想ハ今聽
クニ由ナシ唯々余ハ目下此港碇船ノ商船少ナ
ク税関出入ノ荷物多カラス波戸場ノ人足ハ其
業ヲ失ヒ茶焙ノ日雇賃ハ天保錢二十枚若クハ
十枚ニ下落シ(實然)ニ詳密ニ、拍手大喝米内

外ノ商人カ共ニ其不景氣ナルヲ訴フルヲ聽テ
勢ニ横濱ノ商業ハ益々盛ナリト云フヲ得ナル
ナリ(大喝米)唯リ其盛ナルヲ証スル能ハス
得ナルヲ知シテ、昨年度(自明治十四年七月至
十五年六月)ヨリ本年度ニ海ノ輸入ノ著シク減
少セルヲ見テ貿易ノ大ニ衰微シタルヲ推知シ
(謹聽)ニ隨テ我回力ノ疲勞シタルニアラサル
乎ヲ疑一リ(大喝米)
滿場ノ諸君ハ定メテ昨年業横濱ヲ始メ神戶大
坂長崎箱館等ノ諸港ニ在テ輸入ノ減少殊ニ著

六月)ノ輸入ニ比シテ殆ント九五若クハ二割ノ
 減サナルヲ知ル
 ナラシ^{*}信然ニ
 拍手謹聴^{カク}願フニ
 是レ我帝國人民ノ為メニ賀スヘキノ事ナル乎
 將々憂フヘキノ事ナル乎今マ輸入ノ減サナリ
 ト謂ハハ一應ハ賀スヘキノ事ニ如シ否ク其皮想^相
 コリシラ之ヲ謂ハハ是レ實ニ喜ブヘキノ事ニ似

各港輸入元價統計表

比較去年度差減表

明治十四年度	明治十四年度	明治十四年度	明治十四年度
參式三四七	參式四六九	參式九零五	參式五〇六
參式三〇七	參式九零五	參式九零五	參式五〇六
參式三〇七	參式九零五	參式九零五	參式五〇六
參式三〇七	參式九零五	參式九零五	參式五〇六

タリ然レトモ其減サシタル根源ニシテ未ダ明
 カナラス何ニ申テ斯ノ減サヲ致セシ乎ヲ詳ニ
 セサシハ賀スヘキノ事必スニモ賀スヘカラ
 ス(謹聴^{カク}喜ブヘキノ事必スニモ賀スヘカラ
 ラス(謹聴^{カク}或ハ賀スヘカニカハ更ナリ大
 ニ憂ヒ深ク吊フヘキ事ナルモ未ダ知ルヘカラ
 ス(大喝^{カク}願フニ我邦ノ造^製物ニシテ發進^進連年
 ニ其供給ノ多キカ為メ最早外國物品ノ輸入ヲ
 要セス以テコノ減サヲ致セシモノナラシメン
 乎是レ我邦ノ繁昌シテ外國物品ノ輸入ヲ減ヒ

タルナリ吾人日本國民タルモノハ斯有様アル
ニ遇ハシ宜シク自カラ賀シ自カラ喜フ一ニ然レ
トモ我邦ノ製造ハ依然タル有様ニシテ未ダ進
マス内國ノ需用備ホ多クニテ外國物品ノ供給
ヲ要スル時ナルニ我邦交買ノ力既ニ疲レテ已
ラ得ス外國ノ物品ヲ輸入スルコト得ハズ以
テコノ減少ヲ致セシモノナラシメテ乎是レ我
邦ノ衰微ニテ外國物品ノ輸入ヲ減シタルナリ
吾人日本國民タルモノハ此有様アルニ遇ハ
堪ヒ自カラ憂ヒ自カラ吊ハサルヲ得ス(謹聽)

今之ヲ面言スレハ買入ルモノ力アリテ之ヲ
買入ルモノヲ要セサルハ我邦ノ繁昌タルナリ
又買入ルモノヲ要スルモ其力ナクシテ不便ナカ
ラモ之ヲ買入ルモノト能ハサルハ是レ我邦ノ
衰弱レタルナリ其繁昌レタルニ因ルモノハ吾
人大ニ之ヲ賀ス一シ其衰弱レタルニ因ルモノ
ハ吾人深ク之ヲ憂ヘサルヲ得ス顧フニ今ノ時
ニ當テ輸入ノ頼ニ減シタルモノハ我邦ノ繁
昌ニタルニ由ル乎抑々衰弱レタルニ由ル乎諸
君ノ意見ハ余レ今^敢問ハス唯リ余ニ至ラハ遺憾

十カテモ事實ニ徴シテ其衰弱シタルニ由ルト
 断言セサルヲ得ス(否)信然ニ、謹聴々、拍手
 大喝米表否ナリト思フ、諸君ハ試ニ綿布類、繅絲
 類、木綿糸ノ輸入ヲ取テ十二年十三年十四年度
 ノ比較ヲ察シ其証尤一端トセヨ其差減實ニ
 尤表、如シナルヲ發見セム

綿布類、繅絲、木綿糸、輸入元價表	比較十四年度ノ差減
明治十四年度	明治十四年度
明治十五年	明治十五年
明治十六年	明治十六年
明治十七年	明治十七年
明治十八年	明治十八年
明治十九年	明治十九年
明治二十年	明治二十年
明治二十一年	明治二十一年
明治二十二年	明治二十二年
明治二十三年	明治二十三年
明治二十四年	明治二十四年
明治二十五年	明治二十五年
明治二十六年	明治二十六年
明治二十七年	明治二十七年
明治二十八年	明治二十八年
明治二十九年	明治二十九年
明治三十年	明治三十年
明治三十一年	明治三十一年
明治三十二年	明治三十二年
明治三十三年	明治三十三年
明治三十四年	明治三十四年
明治三十五年	明治三十五年
明治三十六年	明治三十六年
明治三十七年	明治三十七年
明治三十八年	明治三十八年
明治三十九年	明治三十九年
明治四十年	明治四十年
明治四十一年	明治四十一年
明治四十二年	明治四十二年
明治四十三年	明治四十三年
明治四十四年	明治四十四年
明治四十五年	明治四十五年
明治四十六年	明治四十六年
明治四十七年	明治四十七年
明治四十八年	明治四十八年
明治四十九年	明治四十九年
明治五十年	明治五十年
明治五十一年	明治五十一年
明治五十二年	明治五十二年
明治五十三年	明治五十三年
明治五十四年	明治五十四年
明治五十五年	明治五十五年
明治五十六年	明治五十六年
明治五十七年	明治五十七年
明治五十八年	明治五十八年
明治五十九年	明治五十九年
明治六十年	明治六十年
明治六十一年	明治六十一年
明治六十二年	明治六十二年
明治六十三年	明治六十三年
明治六十四年	明治六十四年
明治六十五年	明治六十五年
明治六十六年	明治六十六年
明治六十七年	明治六十七年
明治六十八年	明治六十八年
明治六十九年	明治六十九年
明治七十年	明治七十年
明治七十一年	明治七十一年
明治七十二年	明治七十二年
明治七十三年	明治七十三年
明治七十四年	明治七十四年
明治七十五年	明治七十五年
明治七十六年	明治七十六年
明治七十七年	明治七十七年
明治七十八年	明治七十八年
明治七十九年	明治七十九年
明治八十年	明治八十年
明治八十一年	明治八十一年
明治八十二年	明治八十二年
明治八十三年	明治八十三年
明治八十四年	明治八十四年
明治八十五年	明治八十五年
明治八十六年	明治八十六年
明治八十七年	明治八十七年
明治八十八年	明治八十八年
明治八十九年	明治八十九年
明治九十年	明治九十年
明治九十一年	明治九十一年
明治九十二年	明治九十二年
明治九十三年	明治九十三年
明治九十四年	明治九十四年
明治九十五年	明治九十五年
明治九十六年	明治九十六年
明治九十七年	明治九十七年
明治九十八年	明治九十八年
明治九十九年	明治九十九年
明治一百年	明治一百年

諸君ノ聖知セラルルニ如ク、本綿類綿類ノ世界

萬國有ルト有テニル邦土ニ在テ其人民必用ノ
 物品ニシテ殊ニ我邦、如キ毛織物ヲ着セサル
 人民ニ取テハ最ニ必用ノ品ナリ是ヲ以テ開港
 以來綿布類、木綿糸等ノ輸入年々ニ其増加ヲ致
 シ明治ノ初年ヨリ十二年度ノ時マテハ年々増
 進シ来レリ然ルニ昨年度ニ及シテ漸ク之ヲ減
 シ本年年度ニ至テ又之ヲ減シ此ニ金中唐糸取引
 ノ季節ニ當ラズ猫ホカ不景氣ヲ極メタルトハ抑
 毛是レ何ノ故ナリソ願フニ若シ本邦生綿ノ收
 獲ニシテ昨今頓ニ其分量ヲ増シ木綿類ノ製造

大喝米蓋布昔時多綿類綿類綿類ヲ輸入セシキ
裸躰ノ者ハ單衣ヲ着ケ古着ヲ服セシモノハ新
衣ヲ着スル等邦人生活ノ度漸ク將ニ上ラント
スルノ勢アリ謹聴當時吾人ハ邦人ノ漸ク
將ニ貧困ノ地ヲ去ラ富實ノ域ニ近ツカントス
ルヲ喜ヒ夫ノ教育ト共ニ之ヲ進メ一層邦人ノ
品位ヲ高メシト冀ヒキ然ルニ其喜ヲ経續スル
ヲ得ヌ夫ノ線ニ上ホシタル生活ノ度級ヲ下シ
五ニ之ヲ卑クシ單衣ノモノハ裸躰ニ復シ新衣
ノ者ハ古着ニ更ニ再ヒ昔ノ慘状ヲ見ントスル

夏洋著作

ニ至テハ同胞親愛ノ情ニ於テ余レ殆ント云フ
ニ忍ビサルモノアリ大喝米拍手満堂願フニ是
レ賀ス一キノ事ナル乎將ク憂フ一キノ事ナル
乎余ハ我帝國ヲ親愛スルノ深キ勢ヒ深ク之ヲ
憂ヒ之ヲ悲ミ之ヲ恐レ之ヲ歎カサルヲ得サル
ナリ謹聴大喝米然ルヲ聞クハ如シハ當局
者ハ之ヲ憂ヘヌ却テ曰ヘルアリ輸出ハ減ホサセ
リ是レ賀ス一シト願フニ是レ莫ニ国土ノ盛衰
ニ注意セルモノト謂フ一キ乎否余ハ竊ニ疑
ヒナキ能ハサルナリ然試ニ満堂ノ諸君ニ問

夏洋著作

ハン今若し放逸無頼、子第カ其肺病、為メ已
 ムヲ得スニテ之、ワ遊蕩ヲ止メ已シカ宅ニ屏
 居ニテ也出セサルニ當リ之、^其父母タルモ、
 其渾因ヲ詳ニヒス直ニ遊蕩ヲ止メタル一豎、
 就テ其事ヲ**連**シ夫婦相**慶**ニテ我々子ハ漸
 遊蕩ヲ止メタリ是レ賀スヘシ是レ喜フヘシト
 謂フモ、アルヲ見ハ諸君ハ如何ケ之ヲ目スル
 身必テス老父母ノ喜ハ^聖空ニシテ其**實**ハ^{自家}
 ノ子ハ人間難病、一ナル肺病ニ罹レルモ、十
 ルヲ知ラザルヲ情ナラン(大喝米突聲四起)今

輸入ノ減サセシヲ見テ其原因ヲ極メス直ニ之
 ヲ賀スルモ、ハコノ老父母ノ喜ヒト同じキモ
 、ニアラザルナカラン乎(拍手滿坐)余ハ其相似
 タル、甚々速カラナルヲ知ルナリ(大喝米信然
)今ヤ我邦人ハ肺病、為メ即チ貧弱、為メ
 止ムヲ得スニテ必用ノ物品スラ之ヲ輸入スル
 ヲ得ス然ルヲ之カ父母タルモ、自カラ喜テ是
 レ賀スヘシト謂フヲ得ヘキ半昔カ子ノ業病ハ
 次第ニ篤ニ赴キ漸ク不治ニ入ラントス之^カ
 父母タルモ、宜シク大ニ之ヲ憂ヒ早ク之ヲ救

フノ術ヲ施スハニ弊ヒ^{百ヲ緩}遅^ハ一キ、時ニア^ハラ
カ^ハルナリ(拍手喝采)然ルニ當面者ハ此有様ヲ見
テ憂ヘス却テ得意、色アルト^ハ抑モ是レ別ニ見
ル所アリテ然ルモ、半余ハ其所見、正鵠ヲ誤
コルナカランゴトヲ冀一リ(拍手笑聲起)
又當局者ハ頻リニ輸出ノ増加セシヲ稱道ス^ハ行
稍^ハ誇ル、色アリ是レ一應ハ尤モ一幸ニ似タ
リ然レトモ之ヲ以テ内地ノ上景気ヲ証シ政治
ノ善良ナル結果ナリト謂フニ至テハ余ハ到底
之ニ同意スルヲ得ス(拍手大喝采)今マ輸出表ニ

東洋雜作

據テ之ヲ謂ハハ本年ノ輸出ハ昨年一昨年ニ比
シテ稍ニ増加、婆アリ余レ今マ敢テ之ヲ隱匿
シラコシ無シト謂テ^余人公平ノ心ヲ欺カサル
ヘシ(拍手)然レトモ其増加セテ見テ直ニ之ヲ称
シ政治善美ノ結果ナリ内地ノ上景気ナ^ル證據
ナリト謂フニ至テハ弊ヒ之ヲ非難セカ^ルヲ得
ス惟テニ本年輸出ノ増加セシハ産物ノ頓ニ増
加シテ之ヲ致セシモ、ニアテ^ハ(謹聴ニ)滿場
諸君ノ熟知ヤルカ如ク昨年ハ此項ニ當テ聯合
生糸預所ト外國人ノ同ニ生ニタ^ル葛藤ハ一時

東洋雜作

順逆ニ依ラズ増減シ氣候我ニ便利ナラン
カ其産出自カラ多ク氣候我ニ不便ナランカ
ノ産出随テ少ク其人爲ノ措置ニ依テ之ヲ厄右
ニルモ甚タ少ナシ故ニ政治ニシテ未々其善
美ヲ尽サ内地ノ不景氣ニシテ其極ニ達スト
氏夫ノ氣候ノ順便アルニ遇ヒ會々之カ收穫ヲ
増加シ其所得ヨ多クテシムルハ抑モ是レ農産
國通般ノ事情ナリシ(謹聽ク)滿場ノ諸君カ
熟知セハ如ク我邦輸出ノ物品ハ大抵皆ノ天産
ニ出テナルハ無シ故ニ今若シ其産出ノ負額ヲ

増加シ稍々輸出ノ多キヲ見ルアラハ是レ其年
ノ氣候我ニ順便ナリテ會々之ヲ致シ所謂農
産國通般ノ事情ニ從フモ心許多ナラン(謹
聽ク)拍手然ルヲ今感ク其功ヲ政治ノ善美ニ
歸シ是レ其結果ナリト謂フニ至テハ余レ到底
之ニ尤祖スルヲ得サルナリ(大喝采)況シヤ内地
ノ不景氣ハ開港場ト均ニク事實ノ着明ナルモ
ノニシテ(信然ク)滿場ノ諸君カ夙ニ熟知スル
所ナレハ如^{設生}何^ク巧言ヲ以テ之ヲ掩ハント欲ス
ルト^モ終ニ之ヲ掩フヲ得ハカラサルナリ

之ヲ要スルニ我邦交買ノ力既ニ衰ラ人間必用
ノ品物ヲサヘ買入ルヲ得ス以テ輸入ノ減少
ヲ致セリ顧リニ是レ誰シノ罪ナル乎余レ今故
ラレ之ヲ言明セシ諸君ノ判断スル所ニ任セシ
トス(拍手大喝米)顧リニ諸君ハ心ヲス其誰シタ
リ何人ナルヲ知スルナラレ(拍手大喝米)聲
中起)而シテ余ハ持ニ内閣當路ノ諸君ニ向テ諸
君ト深ク茲ニ注意シ我日本帝國ヲ誤マハコト
ナアラシコトヲ冀望セサルヲ得ス(拍手喝米)
今ヤ實ニ我邦交買ノ力ヲ疲ラセリ顧リニ是レ

何ノ由縁ナル乎我邦富有ノ天源既ニ涸セラ財
賄ヲ致スノ道ナキニ因ル乎否レ決シテ然ラザ
ルヘン何ノ時何ノ國ヲ問ハス富有ノ天源ヲ涸
ラシ財賄ヲ致スノ道ヲ絶ソモララズ天地生
々ノ理ハ古今ニ亘リ内外ヲ窮メ未タ曾テ變革
セズルモノナレハ我日本帝國ト雖モ必ラス是
ノ天然ノ定則ニ漏ルルコトナカルヘシ(謹聴)
況ンヤ熟ク土地山川ノ有様ヲ俯仰シ產物製
作ノ狀情ヲ視察セシニ森林ハ茂クタリ河川ハ
綿々タリ鐘山ノ開採スヘキモノ原野ノ拓耕ス

一キモノ皆ナ捨テ未タ其利ヲ収メニ生産ノ起
 ス一キモノ製造ノ創ム一キモノ皆ナ擲テ未タ
 其益ヲ取ラス我邦富有ノ源今猶ホ溢レタリト
 謂ッ一キモノ(拍子)謹聽 豈ニ之ヲ称シテ本邦富有ノ
 源、涸レタリ財賄ヲ致ス、道断絶セリト云フヲ
 得ンヤ(拍子)富有ノ道未タ涸レス財賄ヲ致スノ
 道未タ断絶ス然ルニ邦人交買ノ力既ニ疲
 ナ所在皆ナ不景氣ヲ訴フル抑モ是レ奇ト謂
 ツ一ニ然レドモ是レ實ハ奇ナラニ富有ノ源未
 ナ涸テサルモ其流レ通セサルアリ(謹聽)財

賄ヲ致スノ道未タ絶一ナルモ之ヲ塞リモノア
 リ(謹聽)其流ヲ通セス其道ヲ塞リアラハ富
 有ノ源溢ルルモ社會ハ其濁ヲ蒙ルルヲ得ス財
 賄ヲ致ス、道アルモ社會ハ之ヲ致スヲ得サル
 ハレ(喝采)惟フニ富有ノ流ヲ塞キ致財ノ道ヲ阻
 ムルモ其種類必ラス多カラニ然レドモ其最
 モ著大ニシテ最モ恐ルヘキモノハ夫ノ不換紙
 幣ノ制度ト干渉ノ政畧トニ在リ(大喝采)是ヲ以
 テ不換紙幣ノ制度ヲ改メ之ヲ硬貨ノ制ト為シ
 干渉ノ政畧ヲ省キテ人民ノ自營ニ任スヘキハ

我党、恒ニ主張セル所ナリ否ナ硬貨ノ主義ヲ
 実行シ干渉ノ政畧ヲ省クニアラサレハ我邦富
 有ノ源流ヲ通スル難ク我邦致財ノ道ヲ削クヲ
 得サルナリ(謹聴々々)我邦富有ノ源流ニシテ通
 セス我邦致財ノ道ニシテ塞クアラハ我邦人ハ
 何ニ由テ其交買ノ力ヲ養ヒ何ニ由テ其不景氣
 ノ有様ヲ恢復スル乎余ハ之ヲ養ヒ之ヲ恢復ス
 ルニ由ナク断言セサルヲ得サルナリ(大喝采)
 實ニ我邦交買ノ力ハ疲トタリ我邦ノ高業ハ衰
 微セリ今ニシテ之ヲ養ヒ之ヲ恢復セサレハ我

邦ノ運命甚々危クシ當路ノ諸君ハ果シテ能ク
 斯有様アルヲ知ル乎若シ未ク知ラサレハ宜
 々余ノ此言ヲ聴ラズシテ注意スル(謹聴々々)
 拍手大喝采)既ニ之レヲ知レルトナラハ余ハ早
 ヲ之ヲ處置セシコトヲ冀ハサルヲ得ス而シテ
 之ヲ善處スルノ道唯々断シテ硬貨ノ制ヲ実行
 シ勉メテ干渉ノ政畧ヲ省クルニ在ル耳(大喝采)
 當路ノ諸君ハ今現ニ天下ヲ料理スルノ大任ヲ
 負一リ必ラズ能ク断シテ之ヲ行ヒ能ク勉メテ
 之ヲ省クモノアラン(否々)若シ果シテ然ラハ之

ヲ行ヒ之ヲ省クノ實ハ果シテ何ノ處ニ在ル乎
余ハ滿堂ノ諸君ト共ニ其実跡ノ所在ヲ譯子ニ
テ欲スルナリ(拍手大喝米)人或ハ傳フ日本銀行
ノ設ケハ硬貨ノ制度ヲ布クノ基ヲ為スモ、ナ
リト果シテ是レ信然ナル乎余ハ惜^ハ歎^ハ之ヲ信
スルヲ得サルナリ(然^レニ)余ハ嘗^テ正金ヲ資本ト
シ專ラニ正金ノ取引ヲ為ス中央銀行ノ硬貨ノ
制ヲ布クニ助ケアルヲ聽ケリ未^レ紙幣ノミ^テ資
本トシ紙幣ヲ取引引キスル通常銀行同様ノ銀
行カ硬貨ノ制ヲ布クニ^テ利便アル所以ヲ聽カサ

ルナリ(謹聴^ハ、突聲起)又諸君ノ^ハ懇知セル如ク
本年度ノ豫算表ニ據レハ本年度紙幣消却ノ金
額ハ僅ニ三百三十万圓ニ過キス却^ラ之ヲ消却
スヘキ五百有余万圓ヲ移シテ之ヲ従前準備金
ヨリ支出シ来^ルル營業資本及ヒ繰替金ニ用ヒ
タリ(謹聴^ハ、拍手)顧^テ是レ硬貨ノ制ヲ實行
スルノ途ヲ為スモ、ト謂フヘキ乎余レ甚^ク諸
君ノ答ヲ聽キント欲スルナリ(大喝米)況^ニ今
巨万ノ公金ヲ貸シテ共同運輸會社ヲ起サシメ
前ノ内閣カ臺灣事變ニ際シテ買入シタル船舶

ヲ運用セシメシカ爲メ之ヲ三菱會社ニ托シタ
ル時^時有様ニ似ナルハ抑モ是レ干渉ノ政畧ニア
スト云フヲ得ヘキ乎余ハ又甚々諸君ノ答ヲ聽
カント欲スルナリ(拍手)大唱米之ヲ要スルニ
貨ノ制ヲ実行セハ干渉ノ政畧ヲ省クハ今日ノ急
務ニシテ當世ノ要事ナリ内閣當路ノ諸君ト臣
モ必テス其不急ナルヲ證セサルハ(拍手)然ル
ク吾人今當路諸君ノ政畧ヲ譯テ明ニ其實跡ヲ
見ルコト能ハサルハ抑モ遺憾^是至リト謂フヘ
ニ惟^是レ余不明ナルニ因ル半(否)何ソ

其見ルコト得クニテ未々之ヲ見ルヲ得サルヤ
クハ滿堂ノ諸君^{諸君}ニテ其實跡ヲ知ルモノア
ハ幸ニ之ヲ余ニ教ヘ余ヲニテ鄙心ノ遺憾ヲ散
スルノ機會ヲ得ヒシメヨ(大唱米)
之ヲ要スルニ外國ト通商ノ關係ヲ厚クシ我カ
最高工繁昌ヲ期シ我智識ヲ發達シ謀ラント
スルハ我党平生ノ冀望ナリ(拍手)唱米故ニ開港
場ノ繁昌シテ貿易ノ盛ナルハ余カ平生ノ志願
ナリ然ルニ今ヤ不幸ニシテ各港ノ輸入ヲ減シ
ニ其減少ハ我邦製作ノ起ルニ因ルニアラスニ

東洋書作

テ邦人交買カ、衰ルニ因リ内外商人、共ニ
其衰微ヲ訴ヘ此、明治ノ十五年ヲ不景氣、中
ニ送リ去ラシムル、勢アリ余レ豈之ヲ知テ
自カ筆手自書歎シ自カラ悲ニ自カラ恐シ自カラ驚カ
サハラ得シヤ(大喝采)願フニ若シ此有様ヲ經続
シ之ヲ今日ニ救ハサレハ本邦、未未果シテ如
何ナルハ半余ニ誠ニ苦慮ノ至リニ堪ヘサル
ナリ(信然)拍手大喝采然レトモ願ニテ我邦
富實、有様ヲ見レハ其源未タ涸レニ而シテ財
賄ヲ致ス、道モ亦タ未タ断絶セサルアリ是ヲ

以テ邦人交買ノ力今マ既ニ疲レ不景氣ハ其極
ニ至レリト雖モ若シ能ク此政治ヲ改良シ能ク
之ヲ前進スルヲセハ之ヲ恢復スル又甚タ難カ
ラサルヲ知ルナリ(謹聴)拍手大喝采而シテ
我党、銳意奮進シテ政治、改良前進ヲ冀ヒ拮
据勉勵敢テ恙ルコトナキモノハ決シテ偶然ニ
アラサルヲ知ルニ(謹聴)大喝采人或ハ我
党ヲ稱シテ不平、餘リニ起ルモノ、ト云ヘリ我
党、實ニ不平、餘リニ結ヘリ我党ニ政治、改
良前進セズシテ邦國、衰弱スルヲ不平ニ實ニ

出九二

之ヲ晴ラサニカ為メ此政黨ヲ結一リ謹聽
拍手大喝米是レ豈ニ我帝國臣民々々職分ヲ
尽スユノニ丁ラサニ哉(拍手大喝米百大喝米)

[Faint vertical text in columns, likely bleed-through from the reverse side]

東洋...

